

第3学年2組 社会科（公民的分野）学習指導案

日 時	平成22年12月13日	4校時
場 所	安来市立広瀬中学校 図書館	
指導者	T1 教 諭	根本登三男
	T2 学校司書	小林 順子

1. 単元 社会科レポートを作ろう（特設単元）

2. 単元の目標

- 関心・意欲・態度 ・積極的にレポート作成に取り組むことができる。
- 思考・判断 ・選んだ資料や図表に対して、自分なりの考察ができる。
- 技能・表現 ・オリジナル性があり、タイトルやレイアウトに工夫がみられる。
- 知識・理解 ・これまで学習してきたことがレポート作成に生かされている。

3. 学習の基盤（簡略）

3年生は社会科が好きな生徒が多く、意欲的に授業に取り組むことができる。自分の考えを発表をする生徒は限られているが、学習リーダーが育っており、グループ学習では互いに意見交換を行うことができる。

本単元は7時間構成の特設単元である。これまでの学習してきた内容の中から、各自が特に興味・関心持ったことについて、図書館の本を活用して、更に詳しく幅広く学習するというものである。

指導にあたっては、図書館司書との連携を図り、さまざまな分野の図書を準備して生徒の多様なテーマに対応したい。また、図書館での学習場面では、司書からテーマに応じた適切な図書の紹介をしてもらうことにより、効果的に授業を進めたい。

4. 単元の指導計画（全7時間 本時4/7）

- 第1次（2時間） ○レポートの作り方や図書館での調べ学習のルールを学ぼう
○テーマを考えよう
- 第2次（3時間） ○図書館で情報を集めよう
○レイアウトを考えて下書きをしよう
○オリジナルコーナーを考えよう
- 第3次（1時間） ○レポートを完成させよう
- 第4次（1時間） ○お互いのレポートを評価しよう

5. 本時の学習

①目標 ○情報カードの内容を整理して、適切にレイアウトができる。(技能・表現)

○レポートに使う資料について、自分なりの考察ができる。(思考・判断)

②展開

学習活動	教師の支援	評価
1. 本時の学習を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 情報カードの整理の仕方やレイアウトの方法について説明する。(T1) 	
2. 情報カードやノートをもとに、レポートに必要な情報を取捨選択する。	<ul style="list-style-type: none"> 情報をうまく選択できない生徒に対して、個別にアドバイスをする。(T1) 視点をかえた図書やテーマにより合致した資料を紹介する。(T1・T2) 	<ul style="list-style-type: none"> 情報カードを整理することができる。
3. レイアウトを考える。	<ul style="list-style-type: none"> 見やすく、わかりやすいレイアウトになるようにアドバイスする。(T1) 	<ul style="list-style-type: none"> レイアウトを工夫している。
4. レポートに使う資料に対して、自分の考えや解説を加える。	<ul style="list-style-type: none"> わかりやすくまとめる、要点を押さえた文章になるようにアドバイスする。(T1・T2) 	<ul style="list-style-type: none"> わかりやすく表現ができる。
5. 本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 活動のよかった点や改善点を伝え、次時の学習に生かせるようにする。(T1・T2) 	

③本時の具体的な評価

十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	努力を要すると判断される生徒の具体例
伝えるという視点にたって、わかりやすく表現している。	自分の言葉でわかりやすく表現している。	自分の言葉で表現することが十分でない。

6. 授業を終えて

◎テーマについて

温暖化や酸性雨など地球環境問題を扱った内容が多いが、公民の授業でかなりの時間をかけた人権問題に目をむけた作品も多かった。わが国の先端技術や医療についてのレポートも見られたが、難しい内容であるだけにやや説得力に乏しい作品となった。ふるさと島根県の石見銀山遺跡についてのレポートや時事問題として朝鮮半島情勢を扱った作品もあった。

◎図書館の活用、学校司書とのTTについて

さまざまなテーマに対応するために、学校司書に協力していただき公立図書館からの本もたくさん準備していただいた。結果的には、同じテーマを選んだ生徒が多く、学校の図書館の本だけでは不十分であったのでおおいに助かった。また、指導の過程で、学校司書には、情報カードの活用方法の説明やテーマに応じた図書の紹介をしていただき効果的、効率的に学習を進めることができた。

◎レポートの完成度について

3年生は、これまでも図書館を活用した調べ学習を何度か経験しており、計画的に調べ学習を進めることができた。ただし、最初の段階のテーマ決めに時間がかかりすぎ、うまくまとめきれなかった作品も見られた。全体的には、レタリングやレイアウトに工夫がみられたり、インパクトのある見出しや資料で説得力のある作品が多かった。また、4コマ漫画やクイズコーナーを設けてオリジナル性を出すなど随所に工夫が見られた。これは、学校司書に準備していただいた図書が豊富で、生徒の思考の幅が広がったことが大きな要因と考えられる。

◎単元全体を通して

レポート作成では、見やすさという視点から、レイアウトやレタリングなどの技術的な面が重要となる。ただし、最も重要なのは、レポートで何を訴えたいのかということであり、選択した図表や資料を分析し、自分の言葉で表現する力が問われる。3年生は今回が最後の調べ学習であったが、これまでの学習の成果を発揮し意欲的に取り組むことができた。

また、同じテーマの仲間で情報を交換しあったり、異なるテーマに関心を寄せたりする場面もたくさん見られた。評価の時間も互いの取り組みや作品を尊重する姿勢が見られ、互いに認め高め合う学習集団が育っていた。